

一中の桜並木

令和7年5月16日

「教育目標」

考える人

思いやりのある人

助け合う人

成しとげる人



—中HP

連雀学園三鷹市立第一中学校 校長 宮城 洋之

三鷹一中での1か月間

副校長 矢澤 理恵

5月、木々の緑が美しく、さわやかな季節となりました。

新年度が始まって1か月半が経とうとしています。この短い期間に、新入生オリエンテーション、各学級での組織づくり、引き渡し訓練、中間考査、I組校外学習など、様々なことがありました。そして今は体育大会の練習の真っ最中です。皆さんの心と体は、一中での新生活にもう慣れたでしょうか。

私はこの4月に副校長として着任し、日々様々な場面で「中学校っていいな。一中って素敵だな。」と感じています。

【先輩の姿から学び、実践しようとする一中生】

4月7日の着任式、先生方の指示がなくても2・3年生がとても静かに整然と体育館に入ってきて整列する姿、校長先生や代表生徒の言葉を真剣に聞く姿にとっても感動しました。一中では当たり前前の風景かもしれませんが、すべての学校がこのようにできるわけではありません。きっとこれまでの先輩たちの姿から学び、その場にふさわしい行動を自分たちなりに考えることが一中生に根付いているのだということが伝わってきました。そして3年生の代表生徒の「人任せにしないことが大切、応援されるような学年になる」という力強い言葉に、私自身も身が引き締まる思いがしました。

その後も、避難訓練や委員会活動・部活動、体育大会の練習など、多くの場面で3年生が「自分たちの姿」を後輩たちに見せようとしている様子がわかります。1・2年生の皆さんも3年生の思いを感じ、行動し、人任せにせず、皆で「自分たちの一中」を創っていってくれることを期待しています。

【多くの方々から応援される一中生】

もう一つ驚いたことは、本当の多くの方々が一中的こと・一中生のことを応援してくだっているということです。さすが「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」を推進する三鷹市、もうすぐ80周年を迎える歴史ある三鷹一中だと実感しています。

ほぼ毎日、保護者の方・地域の方が一中にいらしてくださり、一中生の教育活動が円滑に進むように、一中の先生たちの負担が少しでも軽くなるように、と力を尽くしてくださっています。

そして、先生方、事務員さん、用務員さんなど、一中に関わるすべての教職員が、一中生のためにできることを常に考え、力を尽くしてくれています。目の前の対応だけでなく、よりよい授業をするために、環境を整えたり、先生自身のスキルアップのために研修を受けたり、連雀学園の小学校の先生方と協力して研究を進めたりしています。

皆さんには、これらの方々から応援に感謝しながらも、思いっきり学べる「三鷹一中」という環境に大いに甘え、大きく伸び伸びと成長してほしいと願っています。

【そしてこの1か月…副校長の私は…】

私の毎日は校内巡回からスタートするようになりました。1階から5階、体育館まで見回るのは少し大変ですが、きれいに掃除された教室や整った掲示がされている廊下を一人で歩く時間は楽しくもあります。給食もとてもおいしく、1か月で健康になったような気がしています。

副校長の仕事は、想像していた以上に職員室でやらねばならない事務仕事が多く、この1か月は一中生の皆さんとお話しする機会が少なかったのですが、これからは皆さんが授業に取り組む姿、委員会や部活動を頑張る姿をたくさん見たり、考えを聞かせてもらう時間を多くとったりしたいと考えています。専門の教科は数学ですので、数学に関する話も機会を捉えてできたら、と思っています。これからどうぞよろしくお願ひします。

保護者の皆様、地域の皆様には、すでに多岐にわたり本校の教育活動を支えていただき、感謝申し上げます。お子様のこと、学校のことなど、いつでも気軽にご相談いただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



一中校舎とシンボルツリー



連雀学園での研究会の様子